

# MFJ国内競技規則 2026

## 付則28 2026全日本スノークロス選手権特別規則

### 1 全日本選手権コース規定

- 1-1 コース1周の長さ：  
700m～1200m
- 1-2 コースの幅：  
最低7m以上とし、追い越し可能であること。
- 1-3 スタートライン：  
同時出走最多台数×（1台につき）1.5mを最低限度とし、参加者すべてが均等な条件のもと、スタートできること。
- 1-4 出走最多台数：  
最低20台～25台が同時出走できるスペースを確保すること。  
ただし地形・天候やその他条件により、安全を期するため主催者の判断により出走台数を増減することができる。
- 1-5 スタートストレート：  
スタート直後のストレートの長さは125m以下であること。この箇所にジャンプは設定してはならない。
- 1-6 ストレート：  
下りのストレートは、125m以下であること。
- 1-7 コーナーの数：  
コーナーは最低コース1周のkm数×10を設けること。
- 1-8 コース間隔：  
2本以上の走路が平行して設定される場合、各走路は5m以上の間隔を設けること。
- 1-9 1周の平均速度：  
1周平均速度は時速50km以内とする。
- 1-10 平均速度の基準：  
SX-Proの最速ラップタイム
- 1-11 観客安全対策：  
「安全対策マニュアル」を基に、観客が特に集まるジャンプ・コーナー・スタート付近は立ち入り禁止区域とするかコーステープや柵等で十分な防護策を講じること。
- 1-12 SX-ProおよびSX-A1は、専用に設定された特設コースが適用される。
- 1-13 スノークロス200は2026全日本スノークロス選手権特別規則 2 全日本選手権開催／併催クラスおよび参加資格 2-10 スノークロス200（併催承認クラス） 2-10-12 コースの仕様を参照。

### 2 全日本選手権開催／併催クラスおよび参加資格

- 2-1 全日本スノークロス選手権開催／併催クラスは下記とする。

ライセンス	開催/参加可能クラス(公認)	開催/参加可能クラス(承認)
SA (スノークロスA級)	SX-Pro、SX-A1	SX-A2
SB (スノークロスB級)	SX-B1	—
SJ(スノークロスジュニア)	—	ジュニア
<b>エンジョイ スノークロス (SJ以上) 種目競技ライセンス (RD、 MX、TR、SM、ED)</b>	—	MFJ Open Cup
<b>エンジョイ スノークロス (SJ以上) 種目競技ライセンス (RD、 MX、TR、SM、ED)</b>	—	スノークロス200

※参加資格

2025年度スノークロスA・B級・ジュニア・エンジョイ・**種目競技ライセンス (RD、MX、TR、SM、ED)**

## 2-2 SX-Pro登録について

SX-Proは全日本におけるスノークロスの頂点クラスとして位置づけられる国内最高峰クラスであり、このクラスに登録された選手は当該年度のその他のクラスに出場することはできない。

※B級よりA級へ昇格した者は初年度はSX-Proへ登録することはできない。

※SX-Pro登録については登録規定に基づき決定される。登録を辞退する場合は、MFJより送付された辞退届を記載している期日（締切日）までにMFJへ申請しなければならない。

## 2-3 SX-Pro登録について

2-3-1 前年度SX-Proランキング15位まで。

### 2-3-2

SX-A1ランキン1~3位まで。

### 2-3-3

過去3年以内（2026年シーズンは2025年、2024年、2023年が対象）に、Proクラスでランキン3位以内を獲得している者。ただし、有効なMFJライセンスを取得していること。なお、ゼッケンはエントリー順に主催者が決める。

## 2-4 2026年SX-Proのシード制度について

SX-Proはシード制度が採用される。シード対象選手は予選の結果にかかわらず決勝への出場権が保障される。ただしレーススタート集合時間に間に合わなかった場合は権利を失う。またシードライダーが決勝に出走しない場合、リタイヤ届をすみやかに提出しなければならない。

- ・第1戦時は2025年SX-Proランキン上位2位。
- ・第2戦以降は前大会までの暫定シリーズランキン上位2位。
- ・公式練習と公式予選に出走していることを条件とする。
- ・決勝出走台数は最大16名とし、シードライダー2名が予選を落ちてもシード権を行使した場合に限り、最大18台まで認められる。
- ・シード選手のグリッドは全予選通過者の後に当該大会シード優先順位に基づきグリッド選択する。

### 参考

- ・シード選手2名が公式予選を通過しなかった場合、公式予選の16位以降に17位、18位（シード順）にシード選手が追加される。
- ・シード選手1名が公式予選を通過しなかった場合、公式予選の16位以降に17位にシード選手が追加される。
- ・シード選手が公式予選を通過した場合（シード権行使なし）、通常どおり上位1~16位が決勝進出となる。

## 2-5 2026年SX-Proレース形式について

## 2-5-1 ①グリッド数

1クラス2ヒート制、決勝レースの最大グリッド数は16台とする。ただしシードライダーがシード権を行使した場合に限り決勝レースは最大18台まで認められる。

## 2-5-2 ②予選組数（予選のグリッド数は最大20台）

受付後参加台数	予選組	予選上位進出者
5～16台	予選なし	
17～20台	予選1組	1～16位 ※決勝進出16台
21～30台	予選2組	各組1～8位 ※決勝進出計16台

※予選が複数組となった場合の決勝進出優先順位は、周回数が多く、タイムの早い組を優先に各組交互に補充される（完走者優先）。

※予選レースの実施については大会審査委員会の判断により例外も認められる。

## 2-5-3 ③予選周回数規定

予選周回数	3周
-------	----

## 2-5-4 レーススケジュール

午前 公式練習（10分以内）

予選上記②および③による予選



※シード選手が予選を落ちた場合シード権が行使される



決勝進出者16名決定（ただしシードライダーがシード権を行使した場合に限り最大18台まで認められる）

午後 決勝ヒート1 15分+1周

インターバル（最低50分以上）

決勝ヒート2 15分+1周

## 2-5-5 予選の組み分け方法について

第1戦については指定ゼッケンの若い番号順に交互に振り分けられる。第2戦以降は前大会までの最新（暫定）ランキング順に交互に振り分けられる。またランキングに氏名がない者はその後にゼッケンナンバーの若い順に交互に振り分ける。予選グリッドの選択優先順もこれに準ずる。

## 2-5-6 決勝グリッドの選択優先順について

ヒート1、ヒート2ともに公式予選結果に基づき、周回数の多いトップタイムの早い組より交互に決勝グリッドを選択する優先順が決定される。予選レースがなかった場合は、第1戦は前年のランキング順とする。第2戦以降は前大会までの最新（暫定）ランキング順で決勝グリッドを選択する優先順が決定され、ランキングに氏名のない者はその後にゼッケンナンバーの若い順に優先される。

## 2-5-7 サイティングラップについて

決勝レース前に1周のサイティングラップ（下見走行）を実施する。

## 2-5-8 SX-Proの指定ゼッケンについて

年間指定ゼッケン（1年間固定）は当該年度の成績が優先される。なお、SX-A1クラスからSX-Proクラスに昇格したライダーはルーキーゼッケン（01～03）が与えられ、MFJホームページ[<https://www.mfj.or.jp>]にて公示される。

## 2-5-9 ライダーのゼッケンナンバー（ウェア・プロテクター上の表示について）について

SX-Proの指定ゼッケンを与えられた選手はジャージまたはプロテクターの背面側に公式練習・予選・決勝を通じて指定ゼッケンの表示が義務付けられる（色、サイズ、書体は自由とするが、判別しやすいもの）。

他の全日本クラスも同様に公式練習、予選、決勝を通じて（主催者から配布される胸ゼッケンの場合を含む）指定ゼッケンの表示が義務付けられる。

なお背面のゼッケンが視認できないため、上にブルゾン等を着用してはいけない。

#### 2-5-10 シリーズランキングについて

SX-Proの年間シリーズランキングは全戦のトータルポイント制とする。

### 2-6 A級・B級レース形式について

2-6-1 1クラス2ヒート制、出場申込み人数が20名を超えた場合は公式予選が行われる（スノークロス競技規則18公式予選）。決勝レースの最大グリッド数は20台とする。

2-6-2 予選が複数組となった場合の組分け方法は、第1戦については指定ゼッケンの若い番号順に交互に振り分けられる。第2戦以降は前大会での最新（暫定）ランキング順に交互に振り分けられる。また、ランキングに氏名がない者は、その後にゼッケンナンバーの若い順に交互に振り分けられる。予選グリッドの選択順もこれに準ずる。

2-6-3 公式予選がない場合、第1戦は前年のランキング順とする。第2戦以降は前大会までの最新（暫定）ランキング順で決勝グリッドを選択する優先順が決定され、ランキングに氏名がない者はその後にゼッケンナンバーの若い順に優先される。

2-6-4 全クラス決勝レース前に1周のサイティングラップ（下見走行）を実施する。

### 2-7 A級・B級クラスの指定ゼッケン

2-7-1 SX-A1・SX-B1のライダーで前年に全日本にてポイントを獲得している各クラス上位30名のライダーには年間指定ゼッケンが与えられる。なお、SX-B1（**前年度シリーズランキング6位まで**）からSX-A1に昇格したライダーにはルーキーゼッケン（01～06）が与えられ、MFJホームページ〔<https://www.mfj.or.jp>〕にて公示される。その他の昇格対象外クラスライダーは大会ごとに主催者よりゼッケンナンバーが与えられる。

#### 2-7-2 指定ゼッケンの付け方

A級／B級の前年ポイント取得者各上位30名は昇格者を除き、**上位から順に**指定ゼッケンが設定される（ホームページにて発表）。

### 2-8 車体ゼッケンについて

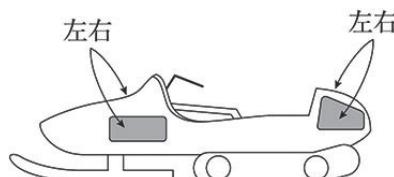
2-8-1 参加するすべての車両は下記のとおり車体にゼッケンナンバーを表示しなければならない。

#### カラー

- ・SX-Pro：赤地に白文字
- ・SX-A1：青地に白文字
- ・SX-A2：黄地に黒文字
- ・SX-B1：白地に黒文字
- ・MFJ Open Cup：緑地に白文字
- ・ジュニア：黒地に白文字
- ・スノークロス200：白地に赤文字

#### 表示場所

- ・ボディー前部左右
- ・シート後方左右



**サイズ**

ボディー前部左右

(ゼッケン台紙部分の最低寸法：縦235mm×横250mm)

シート後方左右 (ゼッケン台紙最低寸法：縦100mm×横100mm)

**フォント**

数字がはっきり読めるように、また太陽光線の反射を避ける為に、地の色同様につや消しで表示されること。数字は英國式を使用し、「1」は垂直の1本線、「7」は水平ラインなしの単純な傾斜線とする。

**1234567890**

**1234567890**

**1234567890**

2-9

**ジュニアクラス（併催承認クラス）**

全日本スノークロス選手権シリーズの併催クラスとしてジュニアクラスを開催する。

2-9-1

競技会格式：

全日本選手権シリーズ各大会の承認クラスとして全戦開催される。

2-9-2

参加資格：

9歳～15歳の当該年度有効なスノークロスジュニアライセンス所持者

2-9-3

車両排気量：

OPEN (200cc以上)

2-9-4

改造限度：

スノークロス車両の仕様 **2** 車両の改造限度 2-2 モディファイ部門の仕様が適用される。

2-9-5

ゼッケン色：

黒地に白文字

ゼッケンナンバーは大会ごとに主催者より与えられる。

2-9-6

レース時間：

2ヒート制・10分+1周 ※予選レースは行わず、公式練習・決勝レースのみとする。

グリッドは抽選により決定され、レース前に1周のサイティングラップが実施される。

参加台数とグリッド数は、大会ごとに制限される場合がある。

※決勝出走台数が2台以上の場合、レースは成立となる。

2-9-7

出場申込み：

出場の申込みは、全日本スノークロス用出場申込用紙を使用し、各大会の主催者へエントリー締切期限内に料金を添えて到着していること。締切日を過ぎた場合、受け付けられない。

参加料金は 2026全日本スノークロス選手権特別規則 **5** エントリー参照。

2-9-8

賞典：

大会ごとに順位がつけられ、各大会上位1位～3位の選手に対し主催者より正賞・副賞が授与される。

2026全日本スノークロス選手権特別規則 附則 **1** 全日本選手権ランキング規定 1-2 得点基準の表が適用され、決勝出走台数に応じた順位に対し、シリーズランキングが管理される（昇格対象外）。

2-9-9

競技規則：

2026年スノークロス競技細則ならびに各大会特別規則が適用される。

2-9-10

車両規則：

2026年スノークロス車両の仕様ならびに各大会特別規則が適用される。

2-10

**スノークロス200（併催承認クラス）**

2-10-1

スノークロス200について

全日本スノークロス選手権シリーズの併催クラスとしてスノークロス200を開催する。

- 2-10-2 競技会格式：  
全日本選手権シリーズ各大会の承認クラスとして全戦開催される。
- 2-10-3 参加資格：  
当刻年度有効なエンジョイライセンス・MFJ スノークロスライセンス・**種目競技ライセンス (RD、MX、TR、SM、ED)** 所持者。ただし、競技役員として大会に参加している場合は、その大会の競技には出場できない。
- 2-10-4 車両排気量：  
4サイクル・単気筒・排気量200cc以下。  
※基本は上記とするが主催者ごとに同クラス内に小排気量クラス等を設定することができる（2スト 125cc、80cc、4スト120cc等）。ただし、2026年まで適用とする。
- 2-10-5 改造限度：  
2-10-15 車両の改造限度参照
- 2-10-6 ゼッケン色：  
白地に赤文字  
ゼッケンナンバーは大会ごとに主催者より与えられる。
- 2-10-7 レース時間：  
10分+1周  
※予選レースは行わず、公式練習・決勝レースのみとする。  
グリッドは抽選により決定され、レース前に1周のサイティングラップが実施される。  
参加台数とグリッド数は、大会ごとに制限される場合がある。  
※決勝出走台数が2台以上の場合、レースは成立となる。
- 2-10-8 出場申込み：  
出場の申込みは、全日本スノークロス用出場申込用紙を使用し、各大会の主催者へエントリー締切期限内に料金を添えて到着していること。締切日を過ぎた場合、受け付けられない。  
参加料金は2026全日本スノークロス選手権特別規則 **5** エントリー参照。
- 2-10-9 賞典：  
大会ごとに順位がつけられ、各大会上位1位～3位の選手に対し主催者より正賞・副賞が授与される。  
2026全日本スノークロス選手権特別規則 附則 **1** 全日本選手権ランキング規定 1-2 得点基準の表が適用され、決勝出走台数に応じた順位に対し、シリーズランキングが管理される（昇格対象外）。
- 2-10-10 競技規則：  
2026年スノークロス競技細則ならびに各大会特別規則が適用される。
- 2-10-11 車両規則：  
2026年スノークロス車両の仕様ならびに各大会特別規則が適用される。
- 2-10-12 コースの仕様
- 2-10-12-1 スノークロスコース規定  
適切なライディングコンディションが確保でき、選手・観客の安全対策を確保したコースとする。特にコース上にジャンプが設定される場合は、当クラスの目的および選手の技量を十分考慮したジャンプの高さ・勾配等を配慮した単独ジャンプとし、無理な体制でジャンプをしなければいけないようなレイアウトを避けることや着地の難度を下げる等を心がけること。必要に応じてジャンプを避けるような迂回コースを設定することを推奨するが、ジャンプを飛ぶ選手と飛ばない選手がコース上で交差することを防ぐため、十分なコース幅を確保すること。
- 2-10-12-2 コースの全長は300m以上700m以下とする。他のクラスと併催する場合は本コースにショートカット部分を設けてコースを設定することも、該当クラス専用のコースを設定することも認められる。コースの幅は最低5m以上とする。
- 2-10-13 スノークロス車両の仕様  
スノークロスレース、エンデューロレース、オーバルレース、ドラッグレース等、スノークロス（モビル）

の車両にて行うレースを総称してスノークロスレースとし、国内競技規則および本規則により管理される。

2-10-14 出場車両

2-10-14-1 4サイクル・単気筒・排気量200cc以下の車両であること。

2-10-14-2 車両はMFJ公認車両に限定されないが、一般の販売ルートで購入できる車両で、MFJスノークロス委員会で承認を受けていること。

2-10-14-3 スノークロス競技細則 **13** ガソリンについては、2026年規則を適用する。

2-10-14-4 競技会に出場する車両は、スノークロス車両の仕様 **1** 車両の安全基準 (すべての部門に適用) の安全基準を満たすものとする。

2-10-15 車両の改造限度

スノークロス200においては下記部分の変更が認められる。前述の車両の安全基準と解釈が異なる部分は、下記改造限度の解釈が優先される。

2-10-15-1 下記に記載された仕様変更および改造以外は、車両の基本仕様（車両販売代理店のカタログ数値および仕様とする）を維持しなければならない（仕様変更、改造とは各部の寸法の改造、形状の変更、部品の交換を示す）。

2-10-15-1-1 点火プラグの変更。

2-10-15-1-2 キャブレター内のジェット類の変更。

2-10-15-1-3 ヘッドライトボディーの取り外し。ただし、外した場合の穴は完全にふさがなければならない。

2-10-15-1-4 ブレーキレバー、ブレーキパッドまたはシューは改造、変更することができる。ただし、ブレーキレバーはスノークロス車両の仕様 **1** 車両の安全基準 **1-10** コントロールレバー規則に合致していること。

2-10-15-1-5 シートはスponジおよびシート外皮に限り改造、変更することができる。

2-10-15-1-6 シュラウドの色、塗装、ワッペン貼り付け等の変更、改造。

2-10-15-1-7 オイル（エンジン、ブレーキ）およびグリス類の変更。

## 2-11 MFJ Open Cup

2-11-1 全日本スノークロス選手権シリーズの併催クラスとしてMFJ Open Cupを開催する。

2-11-2 競技格式：

全日本選手権シリーズ各大会の承認クラスとして全戦開催される。

2-11-3 参加資格：

当該年度有効な、エンジョイライセンス・MFJスノークロスライセンス・**種目競技ライセンス (RD、MX、TR、SM、ED)** 所持者。

2-11-4 車両排気量：

OPEN (200cc以上)。

2-11-5 改造限度：

スノークロス車両の仕様 **2** 車両の改造限度 **2-2** モディファイ部門の仕様が適用される。

2-11-6 ゼッケン色：

緑地に白文字

※ゼッケンナンバーは主催者より与えられる。

2-11-7 レース時間：

10分+1周。グリッドは抽選によって決定され、レース前に1周のサイティングラップが実施される。

※参加台数とグリッド数は、大会ごとに制限される場合がある

2-11-8 出場申込み：

出場の申込みは全日本スノークロス用出場申込用紙を使用し、各大会の主催者へエントリー締切期限内に料金を添えて到着していること。締切日を過ぎた場合は受け付けられない。参加料金は2026全日本スノークロス選手権特別規則 **5** エントリーを参照。

2-11-9 競技規則：

2026スノークロス競技規則、全日本スノークロス選手権特別規則、各大会特別規則が適用される。

2-11-10 車両規則：  
2026スノークロス車両の仕様ならびに各大会特別規則が適用される。

### 3 2026年全日本選手権カレンダー

別途MFJホームページにて公示する。

### 4 大会運営実行組織

大会運営・実行組織はプログラムまたは公式通知に示される。

### 5 エントリー

- 5-1 エントリー先  
エントリー先は各大会主催者とし、**MFJホームページ** [<https://www.mfj.or.jp>] に公示する。
- 5-2 出場申込み  
スノークロス競技細則 **11** 出場申込み参照。
- 5-2-1 全日本スノークロス選手権出場料（円）

クラス	合計（税込）	本体価格	消費税（10%）
SX-Pro			
SX-A1			
SX-A2			
SX-B1			
MFJ Open Cup			
ジュニア			
スノークロス200			

後日MFJの  
ホームページで公示

- ※ジュニアクラス、スノークロス200、MFJ Open Cupはダブルエントリーが可能（ただしスノークロス200は単気筒。追加料金はエントリー料のとおり）。
- 5-2-2 全日本各大会のエントリー期間は、改めてMFJのホームページにて公示する。
- 5-2-3 エントリー用紙にある必要事項は、必ず記載すること。  
※エントリー用紙は**MFJホームページ** [<https://www.mfj.or.jp>] よりダウンロード可能。

### 6 公式練習・公式予選

全クラス 公式練習 10分以内

※公式練習がある場合、出場者は必ず参加しなければならない。参加の定義はスタートラインにライダーが車両とともに並ぶこと。

公式予選 3周

### 7 レース

決勝レースの周回数またはレース時間を以下のとおり定める。

- SX-Pro : 15分 + 1周×2ヒート  
SX-A1 : 15分 + 1周×2ヒート  
SX-A2 : 15分 + 1周×1ヒート  
SX-B1 : 10分 + 1周×2ヒート

MFJ Open Cup : 10分 + 1周×1ヒート

ジュニア : 10分 + 1周×2ヒート

スノークロス200 : 10分 + 1周×1ヒート

## 8 サイティングラップ（下見走行）

安全確認のため、全日本クラスの決勝レース前に1周のサイティングラップ（下見走行）を実施する。

## 9 賞典

賞典は各大会ごとの特別規則または公式通知による。

9-1 SX-Proの賞金・賞典について

9-1-1 SX-Proの賞金（各大会ごと）

総合1位 50,000円

総合2位 30,000円

総合3位 20,000円

9-1-2 SX-Proの賞典（正賞）

総合の1~6位 ※総合順位の決定方法は2026全日本スノークロス選手権特別規則 附則 1 全日本選手権ランキング規定 1-3 SX-Proの総合順位決定方法参照。

## 10 本規則の解釈

本規則および競技に関する疑義は、大会事務局あてに質疑申し立てできる。なお、この回答は大会審査委員会の決定を最終とする。

## 11 本規則の施行

本規則は2026年1月1日より施行される。